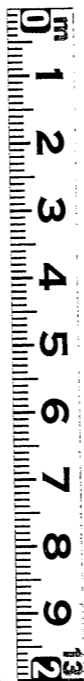


近代正説
碎玉話

武將感狀記

五



281
5

近代正說碎玉話卷五目錄

信玄於海野口後殿之事

多田淡路當木曾小笠原

信玄討取犬飼越鹽尻事

信玄不拘占候事

信玄不拘惡氣事

本多平八郎於長森功名之事

信玄出陣之前預計議事

米田辨使法事

至勝頼之代陷飯田城事

氏綱攻入伊豆憫里人事



氏康攻常州岩井城事

氏康敗安房之師事

謙信之臣神保二宮謀叛之事

謙信與正景戰事

謙信攻越中國土服從事

謙信拔私市城事

信玄渡大水援身方事

謙信臨戰分人衆法嚴事

原美濃於駿州賀嶋戰功之事

小山田備中護信州海尻城事

謙信手刃枳峒和泉之事

信玄以謀誅齋藤道三之家老事

信長使松永彈正叛二好事

信長亡秋山伯耆事

安井仁王於鼻熊城功名之事

澤村太学助於尾州加賀江功名事

信長使稻葉伊豫降雜賀孫一郎事

明智光秀叛逆安田功名之事

森蘭丸明敏之事

信雄雖聞信長之薨不信之事

三好長慶弔合戰之事

土岐萬喜入道防廳南廳北之敵事

土岐萬喜與里見義高相戰事

志賀太郎親次守豊州岡城事

志賀親次敗薩人事

大鹿劔助戰死之事

戸次從違防薩州大軍事

陶尾張守晴賢弑大内介義隆事

并 笠井正盛以計略報主君讐事

近代正説碎玉話卷之五

淡庵子 編輯

一 信玄シシゲ海野ウシノ口ノニテ信虎ノブトラニ請テ後殿コウテンタルハ小田コノエ越前セシノ盛景モリカゲガ謀ル所トコロナリ盛景モリカゲハ信虎ノブトラヨリ信玄シシゲノ傳モリニ付ラレタル者モノナリ信虎ヒツトリ引取ヒツトリタニハ諸方シヨハウノ援スケヒモ引取ヒツトリテ城ジヤウ兵ヘイスナク且ツ急イソクニシ一ツナリ深雪道フシユキミチヲ埋メバ敵利テキヲ見ルトモ跡アトヲシタフコトアタハジ是ニツバ信玄シシゲコレニヨツテ城シロヲ乗取ノットラレタリ是ヲ信玄シシゲニツカラシメタマフ如ク甲軍カウグンニ記シタルハ非也ト云リ

一 信玄シシゲ甘利アミリ藤藏トウサウニ多田タビ淡路アハヂヲ相副アヒソクテ信濃シナノノ木曾キソク小笠原オカサハラニ當アタラレム互ニ相持アヒダスルトキ多田タビ謀ハカリヲ以モツ

テ郷民ヲ近ツケ金銀ヲアタヘ商賣人ニ作テヒソ
カニ敵地ニ入置タリ其年モ冬ニナレバ北國ノ習ヒ
推雪馬ノ足モタズ朔風人ノ膚モ裂ケルニ由テ
共ニ引取明ル三月雪消風舒ニナリテ又對陣ス多
田ハジメ間ニ入タル郷民ニ敵ノアリサニ一々具サニ
コレヲトフ郷民敵備ノ體ハ固ク見ヘ候アタリノ野
山ニ出テ馬ヲ馳弓ヲ以テ的ヲ射鍊炮ヲ以テ目
當ヲ打候ト云多田コレヲ聞テ敵ヲ夜撃ニスベキ
謀策ノ候人數不足ニサフアラフアヒタ今少し加勢
ヲ下サレ候ヘト羽書ヲ飛セテ信玄ニ告タリケレバ
信玄スナハ千栗原下曾根ニ令セラル多田ニ士ヲ

待得テ夜半過ルホトニ敵ノ營ヲ斫テ亂入騎士
九十計リ雜兵三百餘リ討取タリ信玄今度ノ功
ヲ稱美シテ其謀策ノ次第ヲタツ子ラル多田右ノ
子細ヲ述テ是敵ノ虚ニテ候將ノ令嚴ニシテ軍ノ
法正ク候ハハ隙有ゲナル業ヲバ專トセサル道理
ニテ候前ノ年對陣シナガラサセル戦モナクサテ止
候ヘバ敵コレニ慣ヒ今春モサアラント戦ヲ心トセズ
味方ヲアナドリ候足輕ヲカケ小利アルベキトキモ
知ラザル體ニ仕タルハ大勝ヲ存ゼシニヨツテナリ
遂ニ怠弛ノ氣ヲ見付テ夜撃ニイタシ候ト申セ
バ信玄感ゼラル、莫スクナカラズ

一 信玄シノブネ小笠原長時オガサハラナガトキノ地ヲ侵シストキ長時ノ臣シノブネノシノ犬飼イヌカヒ左衛門サエモンハ勇智ユウチアル老將ラウシャウナリ足輕アシガールニ郷民カウミンヲカリクワヘ
 一 二千ニチウ討バカリヒキヒテ鹽尻シホジリノ山中ニサ、へ峯々ミチノク谷々タニニクヨリ
 鑊炮テツポウヲ以テコレヲ拒フセグ信玄手痛クアタレバ按内アシナイハ
 知チタリ四方シハワニ分散ブンサンシテ手ニタニラズ推通オシトホラントスレバ
 又峯々ミチノク谷々タニニクヨリ俄ニハカニ出テ打ウチレラミス信玄コレニ由ヨツ
 テ鹽尻シホジリヲ踰コユルコトヲ得エズ信玄ミツカラ其山中ソノウチノヲ覘ウカガ
 二日影ヒカゲモイタラヌ幽溪ユウケイアリ冷水石間レイスイイハヨリ湧出ワキイデテ猪
 鹿イノシシノカヨフ微徑ホソミチニ苔コケフム跡アトアリ信玄コレヲ見ミテ
 下条九兵衛シモデウニ令レイシ歩者ホシヤ百計ハカリヲヒキヒテカノ幽溪ユウケイ
 二伏フサシム敵テキモシ例レイノゴトク分散ブンサンスルトキ此幽溪ユウケイヨ

リ出ル者モノアラバ前後ゼンゴヲ引包ヒツツミ其將ソノシヤウトオボレキラ
 洩モラサズ撃ウチトレト委細イサイニ計ケヲゾ示シサレケル犬飼イヌカヒ又
 信玄シノブネヲ拒フセグコト始ハジノゴトシ信玄撃敗ウチマヤリテ推通オシトホル
 二按アヒニ違タガハズ六十餘ロクジュウリノ老武者ラウムシヤ從兵ジュウヘイニ三十人サンジウジンハバカリ
 三テ幽溪ユウケイノ微徑ホソミチヲ下ル下条シモデウ伏フクヲ起ヲコシ透間スキマモナク
 引包ヒツツミツカラ鎗ヤリヲ以テ先カノ老武者ラウムシヤヲ撞ツキ仆タラシ殘ノコル
 者モノモ過半クハハン討捕ウチトツタリ老武者ラウムシヤハスナハ千犬飼イヌカヒナリコノ
 ノ千犬飼イヌカヒニカハルモノナシ是ヨリ鹽尻シホジリヲ越コエナガク
 馳カテ桔梗原キキヤウハラニ入イタニフ毎戰ゴトタカフニカナラス勝カツテ長時ナガトキ遂ツイ
 二降ツダリタルハ險ケンヲ失ウシテ守モルコトヲ得エザルガ故ユヘナリ
 一 長時ナガトキト信玄シノブネト桔梗原キキヤウハラニオイテ相戰アヒタカフ日暮ヒクレニヨヒ

ケレバ兩軍引退テ陣ヲムスブ明日ハ先負ノ凶日也
 長時ハサダメテ信玄モコレヲ忌テ懸ルベカラズト思
 怠リ有シトヲ信玄察セラレケレバ其不意ヲ討テ
 大勝ヲ得タリ又信玄飛驒ニ働カル、時ニ破軍返ニア
 タリテ身方沮惶ノ心アリ信玄ソノ色ヲ曉リ敵ヲ
 擊敗リテ後ニカケ通テ後ヨリ又コレヲ討バ敵カヘ
 ツテ破軍返ニ當ラズヤト勵之直ニス、ミテ遂ニコレ
 ニ克信玄ノ占候ニ拘リタマハサル度カクノ如シ
 一信玄氣ヲ見ルノ法ヲ学テコレニ通ズ然レトモ嘗テ
 コレニ拘攣シタマハズ一日信濃ノ帥トタカフ時惡氣
 アリ信玄スコレモ憂ナク備ヲ固シ列ヲ整テコレヲ

待敵ノ虚ヲウカヒ討テ勝利ヲ得タリ歸テ馬場美
 濃ヲ召テ氣ヲ見ルノ法ハ信ズベカラズ今日カクト
 語ラレケルニ美濃其惡氣ハ敵ノ為カ味方ノ為カ辨
 ガタカルベク候ト申ス信玄師傳ノ趣ハ身方ノ為也
 美濃御方ノ為ノ惡氣ト思召ニ由テ合戰常ヨリモ
 戒慎ヲクワヘ玉フ是ヲ以テ危カラズレテ全勝ヲ得
 サセラレタルニ候軍旅ハ唯トリアルヲ第一トスト
 兼テ御意ナサレシハ此ニテ候トゾ申ケル信玄又
 信濃ニ發向ノ時鳩一ツ庭前ノ樹上ニ來ル衆見テ
 ロクニ私語テ喜ブ色アリ信玄ソノユヘラ問レケレバ
 鳩此樹上ニ來ルトキ合戰大勝ニアラザル度ナレ御

吉例ニ候ト應フ信玄鉄炮ヲ以テ忽其鳩ヲ打落シ
テ衆ノ惑ヲ解タニフ鳩モ来ラザル時ハ衆疑沮スル
心アリテ戦ヒ危カラシ莫ク慮リタニフ也

一信玄遠江ニ入ル時参河ノ帥敗レタリ本多平八郎長
森ニテ返合セキホヒカル敵ヲ支得タリ長森ノ橋ハ
引タリ其下ハ水深シ敵進ムコトヲエズ其ヨリ前
坂ノ上ニテ還闘フ者アリ場所アレクシテ皆追立
ラレテ利ナシ本多ガ返スヲ譽ニアラス其返ス所ヲ
ホムルナリ是物見ノ地形ニ心ヲ付ベキノ證ナリ
一信玄出陣ノ前ニ必スナラレアリ是孫武ガ七計廟
筭ノ遺意ナリ軍ハテ、後諸將ヲ召テ其日ノ勝負

ノ理ヲ問タニフ諸將各其旨ヲ云信玄聞召可ナル時
ハコレヲ稱ジ不可ナルトキハコレヲ戒ム故ニ陣々々ニ
功者ト成テ弓矢ノ味ヒフカシ忠義ノ心ヲ第一トシ武
勇ノ業コレニツグ人々カラ勵シテ進退左右ノ手ヲ
使ガゴトシ其時代ノ國主ニ勝レタル處アリ

一信玄村上義清ノ領分佐久郡ニ入テ城ヲ攻ル時取
出二人衆カサニタリ信玄コレヲ見テ敵ノ謀ヲ察ス
ルニ能レホアヒヲ見テニワカニ突出ントスルナラシ味方
ノ備立ヨロシカラストテ取出ノ前ヲ避テ左右ニ分レ
テ陣セヨト飲富板垣ガ手ニ三井米田兩使ヲ以テ下
知セラル米田竹東ノ内ヲ行三井ガ曰何ゾ竹東ノ外

近代正統記 卷之五

ヲ行ガルヤ米田カ曰鉄炮シゲレ中リテ益ナキコト
ナリ只内ヲ行ニシカレト三井聽ズシテ獨リ外ヲ
ユク三井鎧ヲ打カスラレ小創ヲカウフリタリ兩
使イタリテ命ヲ告レバ飲當板垣スナハチ備ヲ立
直ス兩使カヘルニ及テ米田カ曰外ヲ行ニ三井カ曰
不可ナリ鑲炮オモヒシヨリ稠シ見ラレ候ヘトテ
打カスラレタル鎧ノ跡ヲ示ス米田聽スシテ外ヲ行
三井ハ初二懲テ内ヲ行三井歸テ右ノ事ヲ以テ米田
ニ問米田カ曰君ノ命ヲ兼テ使タル時モレ鉄炮ニ中
リテ死セバ大哀ノ合戰前ニテ勝負ノ分ル所ナルヲ
謀遲滯セハ不忠ノ至リ也何ゾアヤウキ外ヲ行シヤ

故ニ身ヲ縮メ鉄炮ヲ避ルヲ道トス既ニ命ヲ告タリ
又命ノゴトク備タリ御返事ハ別ニカハリタル手段モ
ナケレバ歸テ申上ストモ害ナシ歸ルニ及テハ男夫ノ
勇ヲ顯ストコロ也ナシゾ内ヲ行テ見苦ク背ヲ曲メ
テ死ヲ怕レタル形ヲナサシヤト三井應ルニ辞ナシ信
玄コレヲ聞テ大ニ米田ヲ稱ゼラル三井ハ勝頼滅亡ノ
後ナヲ甲斐ニ居殘リタリ河尻肥前守ハ信長長篠
ニ於テ曾ヲ賜ハリ再拜ヲ許サレ軍令ヲ司ルホドノ
者ナレバ甲斐ニ封ゼラル河尻無道ニシテ國民苛虐
ニクルレム此ヲ以テ下揆起ル河尻ガ逃ルトコロヲ三井
追ツメ鎗付テ首ヲ捕其勇敢モツトモ米田ニ劣ルニ

ハ非ガレトモ米田ニ比ルニ各別ニ見ユルハ剛ト柔ト
 ヲ以テ論ゼガレ功ト無功ト理ヲ辨ト不辨トニアリ
 一勝頼ノ代ニ至テ武田ノ威ヲトロヘタルコト兵ヲ用ル
 ノ意味ヲ解ラガルニヨレリ下条越前ヲシテ信濃
 ノ飯田ノ城ヲ守シム士卒合テ四五百ノ頭也信忠
 コレヲ攻ラル勝頼ヨリ小幡因幡ニ命メ加勢トス因
 幡ハ尾張ガ嗣子ニテ五百騎ノ將ナリ此加勢ノ時モ二
 百騎アリ總軍二千バカリノ人衆ナリ因幡ハ大身ナ
 ルユヘニ越前ガ下知ヲ受ス越前ハ本城ノ戍將タルユヘニ
 因幡ガ指圖ヲモチヒス互ニ不和ニシテ因幡ハ我カ從
 兵ヲ引分テ遂ニ城ヲ出ケレハ其躁動ニヨツテ守備

固カラズ士卒半ハ戰サルサキニ離散セシカバ飯田
 ノ城陥タリケル
 一氏綱伊豆ニ攻入時アル里ノ家コトニア人三人病ヲ
 レケル其故ヲ問セラルニ壯ナル者ハ皆亂ヲサケ
 テ山林ニ逃竄レ候我等痲痢ヲ病候ニヨツテ起ル
 莫音叶ハズシテ敵ノ手ニ死ヲモ省ス候ト云氏綱憫
 テ其里ヲ侵サズ一物ヲモ掠トラス藥ヲアタヘ食シ与
 ラレヌ民大ニ悦ブ是ヨリ衆人聞傳テ志ヲ帰ス氏綱
 伊豆ヲ得ノ基トナル
 一氏康常陸ノ岩井ノ城ヲ攻ル佐竹義重出テコレヲ拒
 グ氏康著陣ノ夜義重スナハチ夜討ニス氏康測知テ